

みんなが できる 獣害対策

第4回

イノシシの事 知っていますか？

高い運動能力と大きな体が印象的なイノシシ。しかし、人前にはなかなか姿を現しません。「猪突猛進」というイメージとは違い、実際は警戒心が高く臆病なイノシシの生態を紹介します。

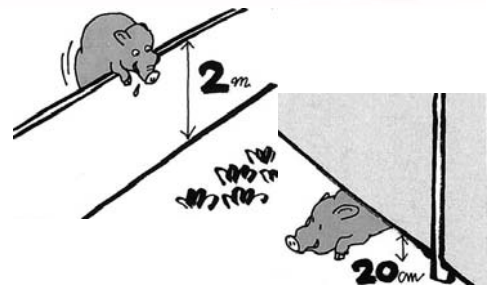


性格

- ・臆病で注意深く、なかなか人前に姿を現さない。
- ・パニックになって逆上すると、身を守るため突進してくる。
- ・いったん慣れると大胆になる。

運動能力

- ・助走なしで1m以上の柵を飛び越える。
- ・2mの高さをよじ登る。
- ・20cmの隙間をくぐり抜ける。
- ・最高時速45km



食べ物

- ・イモやタケノコ、イネ、キャベツ、ミカン、ドングリ、ミミズなど（ただし、基本的に何でも食べる）

視力

- ・0.1前後だが動体視力は人間以上
- ・色は青系統のみ識別可能

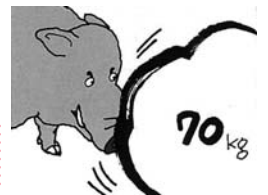
防御力

- ・体を覆う剛毛は電気を通さない。（電気柵は鼻に当てないと効果がない）



嗅覚

- ・犬に匹敵する。



パワー

- ・70kgを持ち上げる。

剛毛は電気を通さず！



生態

- ・1年に一度平均4～5頭産むため、いったん増えだすとなかなか減らない。
- ・寿命は長くて10年

その他

- 足跡：4本指。前2本のみ跡が残ることが多い。
- フン：粒状のものがひとかたまりに。

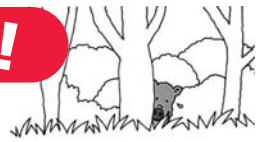


Q1 イノシシが嫌いな臭い・音・光はありますか？

A1 ありません。(効果が継続しません)

臭い・音・光により刺激を与えても、効果は一時的です。イノシシはそういったものが仕掛けられた事による環境の変化を警戒しているだけであり、特定の臭い・音・光が苦手なわけではないのです。（使用の際は期間限定で行いましょう）

重要!イノシシ対策をするならこの順番で!



- 1 イノシシを知ること
- 2 集落の点検・畑や作業の見直し
- 3 防護柵(ネット)

イノシシは人がいない時間に出没する事が多く、逆上すると危険なため追払いは困難です。そこで、周辺環境の見直しや防止柵による被害防止のための環境づくりが主な対策となります。



1 イノシシを知ること **まずは相手を知ることが大切!**

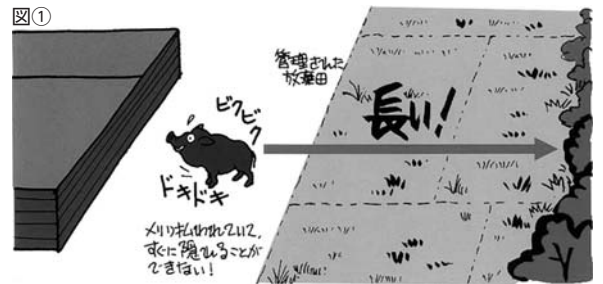
①今回の連載を読む。②詳しい人の話を聞く。③本や講演会でイノシシについて知る。

2 集落の点検・畑や作業の見直し **お金はかかりません・誰でもすぐに始められます**

①集落の豊富なエサをイノシシに食べられないようにする。
→詳しくはリンク1月号をご覧ください。

②集落や田畑の見通しをよくする。
(イノシシはひらけた場所を嫌います)
→耕作放棄地を刈り払う(右図①)

③イノシシの生活跡に嫌がらせをする。
→足跡・フン・けもの道・ヌタ場(泥浴びした場所)などを見つけたら刈り払い・人や犬の臭いつけを行う。



畑の周りを2~3m刈り払うだけでも効果がある

3 防護柵(ネット) **手抜きせず作る事が大切です**

①トタン板・ワイヤーメッシュ(溶接金網)・電気柵などあります。
→それぞれ一長一短あるため、改良して張りましょう。

②イノシシは70kgを持ち上げる力があります。
→手で押してもぐらつかない強度にしましょう。

③わずかな隙でもイノシシは見逃しません。
→隙間なく囲いましょう。(右図②)

④イノシシは常に同じ方向から来るとは限りません。
→4方向全てを囲いましょう。

⑤柵を作って終わりではありません。
→柵を作ってからが大切です。
改善やメンテナンスをしっかりと行いましょう。



※補助制度があります。柵の材料を購入する前に農業振興課へご相談ください。

Q2 イノシシの弱点は何でしょうか?

A2 臆病な性格です。

イノシシが人前に姿をあまり現さないのは臆病だからです。集落や田畑の見通しをよくするための刈り払い、けもの道での犬の散歩や障害物の設置などを行い、臆病なイノシシが嫌がる環境を作りましょう。



イノシシの臆病な性格を意識した対策が効果的です。

今回 イノシシ特集を行いました。 次回 シカ特集を行います。

写真提供: 近畿中国四国農業研究センター 参考文献: 農文協「イノシシから田畑を守る」 著者/江口祐輔 イラスト/トミタイチロー
JA静岡中央会「みんなで取り組もう!鳥獣被害対策」 監修/井上雅央 製作/農文協

問 藤原庁舎 農業振興課 T 46-6309 F 46-6319